

第7回日本語教育研究集会

日時 2009年8月3日(月)

場所 名古屋大学全学教育棟 2階211演習室(控え室:演習室201小会議室)

プログラム

受付開始:9:30~

- 研究発表:10:00~10:30 陳 麗麗(名古屋大学大学院生)
中国人学習者の日本語類義複合動詞の習得
- 「~込む」、「~込める」、「~詰める」、「~入れる」を中心に -
- 10:30~11:00 鈴木ほたる(東京学芸大学大学院生)
日本語母語話者の談話におけるジェンダー表出
- 自然会話にみる男女の会話スタイルの違い -
- 11:00~11:30 韓 金柱(東京外国語大学大学院生)
現代日本語における接尾辞「がる」の意味・用法
- 11:30~12:00 杉村 泰(名古屋大学)
複合動詞「-疲れる」について
(司会 許 夏玲:東京学芸大学)

(昼休み)

- 13:00~13:30 名嶋義直(東北大学)
シラバスが生み出す誤用
- 13:30~14:00 モンコンチャイ・アッカラチャイ(東京外国語大学大学院生)
「だけ」と「しか~ない」が用いられる文脈の違いについて
- 初級日本語教科書の例文改善のために -
- 14:00~14:30 朴 錦女(東京学芸大学大学院生)
上下関係における日本語学習者の授受補助動詞の習得に関する調査
- 日本で生活している中国語母語話者と韓国語母語話者を対象に -
- 14:30~15:00 許 夏玲(東京学芸大学)
情報要求の場面における日本語母語話者と中国人日本語学習者の言語行動
(司会 鈴木智美:東京外国語大学)

(休憩)

- 15:15~15:45 李 賢珠(名古屋大学大学院生)
テレビドラマに見られる日本人の非言語コミュニケーション
- 対話場面における話し手の首の動きに注目して -
- 15:45~16:15 鈴木智美(東京外国語大学)
比較表現「AはBより~」再考 - 日本語教育における的確な導入例を考える -
- 16:15~16:45 梅木俊輔(東北大学大学院生)
相づち使用とターン管理に関する一考察 - 接触場面の場合 -
- 16:45~17:15 アイニシャー・ニヤズ(名古屋大学大学院生)
日本語教育文法の視点からみた「のだ」の分析
(司会 名嶋義直:東北大学)